

各関係機関・団体長 様

愛媛県病害虫防除所長

病害虫防除技術情報(第5号)の送付について

このことについて、次のとおりお知らせしますので、今後の防除対応についてよろしくをお願いします。

記

1. 情報の内容 **コナジラミ類の薬剤感受性の検定結果について**

2. 調査方法

- (1) 採集時期: 令和2年6～12月に、成虫または幼虫を採集
- (2) 採集場所: 西条市(トマト1圃場)、今治市(トマト1圃場)、松山市(イチゴ1圃場、キュウリ1圃場)、大洲市(キュウリ2圃場)、西予市(イチゴ3圃場)、宇和島市(かぼちゃ1圃場)、計 10 圃場
- (3) 供試薬剤: オンシツコナジラミ 10 薬剤、タバココナジラミ 12 薬剤(表1参照)
- (4) 検定方法

初生葉が出たインゲンの苗を切断しサンプル瓶に水挿し後、パラフィルムで瓶の口をふさいだ。コナジラミ類成虫約 20 頭とともに小型プラスチックケースに入れ、25℃、15L:9D 条件下で 24 時間産卵させた後、成虫を除去した。2齢幼虫になるまで保管した後に、供試薬剤の薬液に 30 秒間浸漬処理し、風乾した。水処理区の個体が4齢幼虫まで発育した時に実体顕微鏡下で生死を調査し、水処理区の生存率から補正死亡率を算出した。

3. 検定結果

(1) オンシツコナジラミ幼虫に対する効果

感受性の高い薬剤は、トランスフォームフロアブル、ディアナSC、コロマイト乳剤、グレーシア乳剤であった。モスピラン顆粒水溶剤、コルト顆粒水和剤、カスケード乳剤、ベネビアOD、ウララDFは地点によるばらつきが大きく、チェス顆粒水和剤の感受性は低かった(表 2)。

(2) タバココナジラミ幼虫に対する効果

感受性の高い薬剤は、ディアナSC、コロマイト乳剤、アフーム乳剤、グレーシア乳剤であった。モスピラン顆粒水溶剤、ベネビアODは、地点によるばらつきが見られたものの、比較的感受性は高かった。トランスフォームフロアブル、チェス顆粒水和剤、コルト顆粒水和剤、カスケード乳剤、マッチ乳剤、ウララDFの感受性は低かった(表 3)。

4. 防除上の注意

- (1) コナジラミ類は大部分が葉裏等の薬剤のかかりにくい場所に寄生しているため、散布ムラに注意し、葉裏に薬液がかかるように丁寧に散布する。
- (2) 摘葉は袋等に入れてハウス外に持ち出し、適切に処分する。ハウス内外の雑草も発生源になるので、除草を行う。
- (3) 圃場観察により早期発見、早期防除に努める。
- (4) 薬剤の選択に当たっては、ミツバチや天敵のカブリダニ類等への影響を考慮する。
- (5) 薬剤抵抗性の発達を防ぐため、気門封鎖剤を含め、系統の異なる薬剤によるローテーション使用に努める。

表1 供試薬剤

供試薬剤	農薬分類 (IRAC)	供試倍数	天敵への影響				マルハナバチへの 影響	ミツバチへの 影響
			ミヤカブリダニ	チリカブリダニ	スワルスキーカブリダニ	クハコスミメ		
モスピラン顆粒水溶剤	4A	2,000	14日	14日	7日	成虫強い影響	1～3日	1日
トランスフォームフロアブル	4C	1,000	-	影響なし	影響なし	-	2～5日	10日
ディアナSC	5	2,500	14日	14日	14～21日	強い影響	1日	3日
コロマイト乳剤	6	1,500	7日	7日	7日	影響小さい	1日	1日
アフーム乳剤	6	2,000	7日	7日	7日	強い影響	2日	2日
カスケード乳剤	15	4,000	7日	0日	0日	幼虫強い影響	2日	1日
マッチ乳剤	15	2,000	0日	0日	0日	幼虫強い影響	1日	1日
チェス顆粒水和剤	9B	5,000	0日	0日	0日	影響あり	○	○
コルト顆粒水和剤	9B	4,000	ほとんど影響なし	ほとんど影響なし	14日	強い影響	3～7日	使用は避ける
ベネビアOD	28	2,000	0日	0日	0日	影響なし	1日	1日
ウララDF	29	2,000	0日	0日	0日	影響なし	○	○
グレーシア乳剤	30	2,000	強い影響	強い影響	100日以上	強い影響	1日	1日

1)天敵、マルハナバチ、ミツバチへの影響は、令和2年度愛媛県農作物病害虫等防除指針(参考資料)より抜粋

2) (○):薬剤が乾けば影響なし (-):知見なし

表2 オンシツコナジラミ幼虫に対する薬剤の感受性

薬剤名	IRAC コード	補正死亡率(%)				
		松山市1 いちご	西予市1 いちご	西予市2 いちご	西予市3 いちご	宇和島市 かぼちゃ
モスピラン顆粒水溶剤	4A	80.6	3.0	66.5	93.7	67.5
トランスフォームフロアブル	4C	100	100	100	100	-
ディアナSC	5	100	100	-	100	100
コロマイト乳剤	6	92.0	100	100	-	100
チェス顆粒水和剤	9B	2.1	0	0	39.5	-
コルト顆粒水和剤	9B	43.8	3.0	6.3	100	-
カスケード乳剤	15	97.6	4.3	53.1	87.0	54.1
ベネビアOD	28	60.9	37.8	80.5	100	75.0
ウララDF	29	27.5	53.2	29.7	100	56.7
グレーシア乳剤	30	100	100	100	100	100

表3 タバココナジラミ幼虫に対する薬剤の感受性

薬剤名	IRAC コード	補正死亡率(%)				
		西条市 トマト	今治市 トマト	松山市2 きゅうり	大洲市1 きゅうり	大洲市2 きゅうり
モスピラン顆粒水溶剤	4A	88.0	89.1	79.8	55.5	85.4
トランスフォームフロアブル	4C	55.4	58.8	-	7.9	68.8
ディアナSC	5	95.6	100	100	99.7	100
コロマイト乳剤	6	87.2	100	100	100	98.3
アフーム乳剤	6	96.9	-	-	100	100
チェス顆粒水和剤	9B	0	40.2	74.0	2.5	0
コルト顆粒水和剤	9B	50.5	72.6	59.5	22.8	11.4
カスケード乳剤	15	66.1	72.2	64.9	33.8	37.5
マッチ乳剤	15	-	-	-	7.4	9.1
ベネビアOD	28	95.8	83.6	93.3	80.3	86.6
ウララDF	29	36.5	74.0	73.6	5.8	2.4
グレーシア乳剤	30	98.4	100	96.6	96.9	100